

今回は、日和山の岩崎山に残る泊浦城跡について紹介します。

あまり知られていませんが、日和山の展望台の周辺には、鳥羽城より古い城跡が残っています。ただ、石垣は一部のみで、山を削って平らな面をつくる曲輪（くるわ）で構成されています。

城跡というと、みなさんは、名古屋城や大阪城のような立派な石垣をイメージされるかもしれませんが、多いと思います。しかし、このような城は今からおよそ400年前の安土桃山時代に、織田信長が築城した今の滋賀



平たい石を積み上げた古い石積みです



曲輪です。ここに建物が建っていたと考えられます

日和山一帯に眠る
泊浦城跡は一級遺跡！

今回は、日和山、岩崎山に残る泊浦城跡について紹介します。

県の安土城より後に一般化したもので、「近世城郭（きんせいじょうかく）」といわれます。日和山周辺のもは、こうした立派な石垣が一般化した前の時期の城で、古い段階の「中世城郭（ちゆうせいせいじょうかく）」と考えられます。みな

さんもご存じの鳥羽城は、九鬼嘉隆が作った城で、石垣を多用した近世城郭に当たります。一方で、泊浦城は石垣の積み方が古い手法で積まれていることから、嘉隆が鳥羽城に入る前に入っていた城の可能性があります。

このような古い形態の「中世城郭」と「近世城郭」といわれる石垣の城がすぐ近くに併存して残っていることは、城の移り変わりを知る上で、極めて重要な城跡であり、城の研究者たちから熱い注目を浴びています。

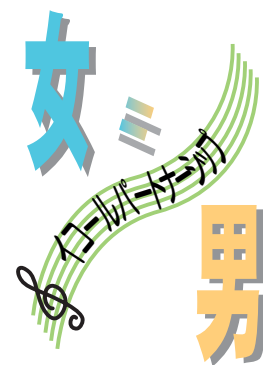
今後、鳥羽城の「前身」の城として、石垣や曲輪の残る位置などを正確に記録していく必要があります。

鳥羽のお宝
再発見！



vol.2

教育委員会生涯学習課
☎ 1268



わかちあう
仕事も家庭も喜びも

vol.91

市民課人権・生活係
☎ 1126

「わかちあう 仕事も家庭も喜びも」

これは、平成20年度の「男女共同参画週間」の標語です。この標語のとおり、仕事においては、男性・女性のお互いのさまざまな意見を生かし対等な関係を築けること、そして家庭においては、家庭内で役割分担をし、家族みんなが家庭の仕事の大変さ、大切さを知ることが、とても大事なことでないでしょうか。

その中から喜びを分かち合える関係が、やがては、すべてのなかかわりの中で実現できる世の中になっていければと思います。

そうするためにも、日々の生活の中での意識付けや意識改革が必要となってきます。「男のくせに、女のくせに」という意識の中で、その人の可

能性や考えを抑制しているのであれば、それは非常に悲しいことであり、またもつたないことでもあります。

「男女共同参画週間」は、平成11年6月23日施行の「男女共同参画社会基本法」に対する理解を深めるため、毎年6月23日から29日までの一週間と定められました。

男女が、互いにその人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、家庭・職場・学校・地域社会などのあらゆる分野において、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向けて、再度考える機会にしたいだけだと思います。

